

防ごう、少年非行

出発！青色パトロール隊

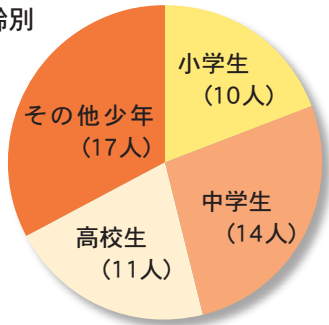
全国的に少年が加害者や被害者となる痛ましい事件が多発しています。

少年犯罪発生の背景には、携帯電話やインターネットの爆発的な普及に伴い、青少年の健全な成長を阻害する恐れのあるものや情報が、だれでも簡単に手に入れられるようになったことがあるのではないのでしょうか。また、家庭や社会の環境、生活スタイルが変化し、家族や地域社会との関わりが希薄になってきていることも大きく影響していると考えられます。

少年非行の件数は、少子化に伴い減少傾向にあるものの、低年齢化や凶悪化しているのが現状です。

刑法犯少年等検挙補導件数 (伊予警察署、平成20年1～9月)

■年齢別



■犯罪種別

種別	平成19年	平成20年
凶悪犯	0件	1件
粗暴犯	7件	4件
窃盗犯	21件	45件
その他	10件	2件



▲補導委員活動学習会の様子

青少年補導委員の活動

伊予市青少年センターでは、少年非行を未然に防ぎ、青少年の健全育成を図ることを目指して、街頭補導活動を中心に少年相談・環境浄化活動を行っています。現在、伊予市では教育委員会から委嘱された88人の青少年補導委員が活動しており、少年たちへの思いやりの精神を基調とした「声かけ運動」、ユニフォームを着用することによる「見せる補導」を行っています。また今年1月から青色パトロールカーによる巡回も始めました。

※市では、青少年補導委員の青色パトロールのほかに、市内の各小学校に15台の青色パトロールカーが配備され、先生も青色パトロールを実施しています。

青パト巡回中

青少年補導委員は、青色回転灯を装着した8台の青色パトロールカーで巡回活動をしています。

量販店や公園、駅周辺など、人の多く集まる場所を中心に定期的に巡回し、イベントや祭りなど人が多く集まる機会にも、パトロールを行います。

青色パトロールは「見せる補導」の柱として非常に大きな犯罪抑止力の効果があると期待されています。



子どもたちの笑顔のために

昔も今も、子どもたちは基本的には変わっていないように思います。子どもたちを取り巻く環境・社会の変化によって、子どもたちに変化が起きているのではないのでしょうか。

子どもたちの健全な育成のためには、家庭・地域・学校それぞれが次世代を担う子どもへの成長に関心をもち、お互いに連携していくことが重要です。

地域全体で子どもたちを見守り、子どもたちの笑顔が輝く伊予市にしていきたい。

子どもたちへのメッセージ

「あいさつ」をしましょう。最近では巡回中にあいさつしてくれる子どもたちが増えてきました。あいさつは、学校生活・社会生活の基本です。まずは家族、友だち、そして地域の人に…。それが会話につながる第一歩です。そして、できるだけ地域の行事に参加しましょう。中学卒業まで10年近くにわたり、毎年参加してくれる子どもたちを見ていると、成長する姿がよく分かります。顔を知り、知られることで、さらに「安全・安心なまち」になっていくでしょう。

お父さん、お母さんへのメッセージ

子どもたちの成長には、「家庭」「学校」「地域」の3者が一体となり、協力していくことが欠かせません。

しかし、何といたっても基本は家庭にあると思います。いつの時代も子どもは親の愛情を求め、その背中を見て育ちます。何が大切なのかということを常に親子で話し合い、共有し続けてほしいものです。



青少年補導委員長
中野 久さん